

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	人	人	1 1 人

前回の改善計画	新規利用者の実調は二人で何う、新規の方は情報が少ないため利用開始後コミュニケーションを図り知り得た情報を連絡ノートとは別のノートに記入し皆で共有していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	新規利用者の実調は2人体制で何うことができた、人員不足の時は後日再度実調に行き細かいところ聞き利用することが出来た、その後の関わりで知り得た情報は連絡ノートとは別に作成した愛ノートを活用し共有することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	3	8			1 1
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	3	8			1 1
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3	8			1 1
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	2	8	1		1 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者基本情報、相談受付票、状況調書、主治医意見書等参考しながらスタッフ間で情報を共有し本人や家族に必要している支援を考え利用者様と関係づくりのための配慮をしました、又、利用者様の情報を聞きながらコミュニケーション通して不安を少しでも和らげるように関係づくりのために支援することが出来た。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
新規の利用者様の情報がうまく伝わらない時があった、毎回の朝礼でノートに記入している申し送りをしているが聞いていないことがあったノートは確認するが見落としたりした時があった。新規利用者対し業務が優先になりコミュニケーションが不足した部分がありました。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
引き続き新規利用者の実調は二人で何う、新規の方は情報が少ないため利用開始後コミュニケーションを図り知り得た情報を愛ノートに記入し内容を活用と共有することの定着を目指す。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	9 人	1 人	人	1 1 人

前回の改善計画	年間行事で利用者様の食べたい物を聞き（特に泊まり中心の方）食べ物を準備する、聞き方として今日のおやつのリクエストは何のおやつで誰さんが選びましたと紹介しみんなで食べる。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様のリクエストでた食べたいおやつはずんだ、アンパン、バナナ、パイナップル、かき、なしをみんなで食べることが出来ました。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？	1	6	3	1	1 1
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？	2	6	2	1	1 1
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？	1	7	2	1	1 1
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？	1	8	1	1	1 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の関わりの中で本人の発した言葉を受け止め思いを寄せる様に心がけている、そのことを他の職員に伝えている利用者様が自分で考え何をしたい何を食べたい、意識して話すことが何かしたい、やりたいと言言葉に繋がることができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
本人が「〇〇購入したい」や「〇〇したい」等応えることが出来ない事が納得するよう伝えられず、がっかりさせたことがあった。また長く利用している利用者様に決めつけて関わるため客観的にとらえられないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
継続し年間行事で利用者様の食べたい物を聞き準備する、聞き方として今日のおやつのリクエストは何のおやつで誰さんが選びましたと紹介しみんなで食べる。又、おやつ以外に利用者様がやってみたことを聞き行ってみる。	

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	8 人	人	1 人	1 1 人

前回の改善計画	本人、家族とコミュニケーションを図り以前の生活を聞き、聞いたことを連絡ノートとは別のノートを準備記入し共有する、把握する中で利用者様のニーズに応えられるようにこれからの支援に活かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	別のノートを愛ノートと決め新規利用者様や利用者様との関わりで聞いた話をノートに記入し共有する事ができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	1	6	3	1	1 1
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	3	8			1 1
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	2	5	4		1 1
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	4	7			1 1
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	3	7	1		1 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者様の困りごとやこうしたい、こうしてほしいをじっくり聞いてすぐに出来ることは対応する、難しいことは他の職員や管理者に共有できている。声に出せない体調の変化に気づき早めに対応にて重症化せず日見過ごせた。また気持ちがすぐれない様子の時は話を聞くなど気分転換ができるように努めた毎日笑顔が見られるよう努めた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
生活環境を理解するために以前の暮らし方を 5 個程度把握は出来ているが 1 0 上げるのが難しいためミーティングにおいて本人の声にならない声をチームで言語化するのが難しい時があるため。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
愛ノートを作成し記入は出来ているがまだ定着していない為、愛ノートを活用し利用者のニーズに応える支援を実践する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	7 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	3 人	6 人	1 人	11 人

前回の改善計画	地域資源の把握と民生委員の役割等の勉強会を開催する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源の勉強会を 10 月の職員会議で開催し仙南地域の社会資源について確認して共有することが出来た、民生委員の役割は今回行えなかったため次回行いたい

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	5	4	1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	5	3	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	6	3	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	4	2	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
本人との関わりの中で生活環境や家族との関係を理解し本人にとって良い生活スタイル支援ができるようスタッフ間で情報を共有している。又、白石広報や新聞より情報を得る（地域の事）その方が地域的话题をテーマにして話しをできるように努めた	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
今の暮らしで必要な民生委員さんなどの把握できていない。地域資源で前は地域資源の弁当配達利用した利用者様いましたが今はいないため	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
前回できなかった民生委員の役割等の勉強会を開催する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	7 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	9 人	人	人	11 人

前回の改善計画	本人、家族とコミュニケーションを図り認知症の方が在宅生活を継続できるよう（常に見守りが必要など）支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果	本人、家族のニーズを聞き自宅に一人で入れない利用者様を家族の仕事に合わせて送迎していただき受け入れることが出来ました。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	7	2	1	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	7	1		11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	6	5			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の関わりから変化に気づく様に心掛けている、訪問や送迎時に感じたことや家族が発した言葉などは大事に受け止め伝えている。又、職員会議朝夕のミーティング等で今までなかった変化（状況状態）など対応し共有出来ている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
日々の変化がミーティング等行えない時（人員不足）伝えられず緊急性のあるものは口頭で伝えられていない時があった。日々の関わりの中で本人の変化に気づかずいつもと同じと思ってしまった。体調や状態の変化は対応できているが気持ちの変化等は観察が足りない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
本人、家族とコミュニケーションを図り認知症の方や透析をしている方が在宅生活を継続できるよう支援する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
6. 連携・協働	メンバー	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	4 人	4 人	2 人	11 人

前回の改善計画	前回の計画継続する、地域ケア会議に参加したことがない職員の参加し支援方法を学び実践で活かす、また運営推進委員会に参加したことない職員が参加する
前回の改善計画に対する取組み結果	人員不足で地域ケア会議に参加したことがない職員が参加できなかった、運営推進委員会は参加したことない職員が参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	2	1	7	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	1	1	1	8	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	2	2	5	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	1	1	1	7	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域住民に声がけ協力していただき避難訓練、防災訓練を実施し利用者様と参加することが出来た。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 各サービス事業者との関わりがなく利用者様の家族の方との関わりしかない、高齢者子供地域住民等訪れる機会がない、イベントもなかった、一度中止になりなくなるともう一度再開するのは困難と自事会長より話があった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) 引き続き地域ケア会議に参加したことがないスタッフの参加し支援方法を学び実践で活かす、また運営推進委員会に参加したことない職員の参加。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
7. 運営	メンバー	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	3 人	6 人	1 人	1 人	1 1 人

前回の改善計画	参加していないスタッフがいるため改善計画の継続、薬師の湯、尾篋地区、福寿草合同避難訓練に参加していないスタッフを参加する。
前回の改善計画に対する取組み結果	合同で避難訓練を行い、参加したことない職員が参加することが出来た。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか？	2	2	5	2	1 1
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	5	2	1	1 1
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか？	3	5	2	1	1 1
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか？	1	4	3	3	1 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
利用者、家族、介護者等の声に傾聴し、サービスの質を上げるために欠かせない大事な事と思って関わりを大切にしています、意見や苦情等を求められた場合重く受け止め二度と起こらない様会議等で話し合い対策対応出来ている。 防災訓練利用者様と一緒に参加し避難経路等確認する事ができました、職員会議に参加することによって意見を言う機会できました。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
地域の方の意見等よく理解していない、関わる機会がなかった、事業所のあり方として意見を伝えることが出来なかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
尾篋地区の防災訓練職員が参加する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	7 名

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	2 人	5 人	2 人	1 人	1 1 人

前回の改善計画	参加していないスタッフがいるため改善計画の継続、オンライン研修や職員が受けてみたい研修、受けてほしい研修を積極的に受けケアの質の向上を目指す。
前回の改善計画に対する取組み結果	オンライン研修や外部研修を受けている職員は積極的受けることが出来た、しかし良い研修がなかったのか受けない職員もいたため年に一度は受け研修報告して職員同士で学んでいきたい。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	4	4	1	2	1 1
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	4	2	2	1 1
③	地域連絡会に参加していますか	1	4	3	3	1 1
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	6	1	2	1 1

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
リスクマネジメントとしてヒヤリハットを記入している、記入した内容を会議で共有し特に危険な場面を話し合う事が出来た、自発的に介護福祉士取得のため介護実務者研修受け資格取得を目指す職員がいて勉強している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
人員不足により研修や地域連絡会に参加が出来ていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
受けない職員もいたため年に一度は受け研修を受ける、オンライン研修も活用していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (17 : 30 ~ 18 : 30)
9. 人権・プライバシー	メンバー	7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	2 人	1 人	11 人

前回の改善計画	前回の改善計画が出来ていない為継続する。利用者の近くで他の利用者の情報を話さない、職員同士で注意し合い（サインで教える）プライバシーを守る。
前回の改善計画に対する取組み結果	目標を決めて行ったことにより意識して以前よりは利用者の近くで他の利用者の情報を話さなくなりプライバシーは守られた。話していた時の注意の部分でサインを決めてられずできなかった、サインを決めて実践し質を高めていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3			11
②	虐待は行われていない	9	2			11
③	プライバシーが守られている	6	5			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	4	1	4	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	6	5			11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
会議などでも利用者様の情報共有し共有の一などに記録し利用者様の前や聞こえそうな所では話さない。利用者のプライバシーについて入浴時男性職員拒否があれば女性職員にて対応することがありました。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
職員同士で注意し合うという点では各々努力がまだ必要内での情報の収集ができず大声で利用者の事を話しているもう少し自分の事のように考えて行ければいいと思う、成年後見制度を利用されている方が現在いないため活用していない身体拘束はスピーチロック「ちょっと待ってください」など言っている部分があると思います、排泄についてもオープンに話している時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
職員会議でサインを決めて実践することでプライバシーを守る。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 白石ひまわり	代表者	理事長 佐藤 利男	法人・事業所 の特徴	事業所は旧白石温泉薬師の湯、建物の3階部分に位置し日当たりと緑に囲まれた場所に居間や宿泊棟が配置し、施設の敷地内に桜や梅などの花木も多く四季を感じ楽しみながら散歩もできます。事業所内では季節の行事に合わせ折り紙で作成し掲示する、その前で写真を撮りご家族に見て頂いています。玄関にも季節を感じられる飾りつけを行っています。利用者様が住み慣れた地域での生活が続けられるように通いサービス、訪問サービス、宿泊サービスを柔軟に組み合わせ自立した生活が続けられるように支援します。
事業所名	小規模多機能型居宅 介護事業所福寿草	管理者	永倉 朋和		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	(書面1名)4人	人	人	人	人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	定期的な実践評価を行い情報の収集、整理、発信しスタッフの意識を高めケアの質の向上を目指す。	職員会議等で実践評価を行うことが出来た、新たな取り組みを共有し実践することが出来た。	意見は特になし	・引き続き定期的な実践評価を行い情報の収集、整理、発信しスタッフの意識を高めケアの質の向上を目指す。
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者様の来所時や来客が着た際、玄関に季節を感じられる飾り付けを行う。運営推進委員の方々に定期的に福寿草内の見学を行い飾り付けも見ていただく。	玄関に季節を感じられる飾り付けを行う事が出来た、運営推進委員の方に見学していただき飾りつけを見て頂いた。	玄関に飾り付け行っていて季節を感じられている。	・利用者様の来所や来客が着た際、玄関に季節を感じられる飾り付けを行う。 ・福寿草として開設20年が経ち現在使用している電化製品も古くなっている為、時期をみて交換していきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	地域の行事やイベントが開催される時に利用者様と一緒に参加したい。	地域で行事やイベントを開催されなかったため参加出来ていない。	地域でのゴミ拾いは行っているためそれに参加し地域とのかかわりが出来ないか？クリーン作戦として行っているため参加してみてもどうか？	・地域の行事やイベントが開催される時に利用者様と一緒に参加したい。尾篭地区のクリーン作戦を把握しごみ拾いに職員が参加して交流を図る。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・定期的に地域で困っている人の把握や困っている人の相談を続け解決策を見つける。 ・利用者の状態など考慮した取り組みを考えイベントを取り組む	・困っている人の詳しい内容の把握は民生委員でも個人情報があるため聞くことが難しくなっている、質問がわりわからない介護保険の仕組みについてのアドバイス等を行う事が出来た。 ・年間行事を行い楽しめる。	意見は特になし	・今までコロナ化があり外部の方が来て演奏などしていなかった。まずはどのようなボランティアがあるのかを調べボランティアの方に来てもらいイベントを開催する。

E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き運営推進会議に参加したことがないスタッフに参加していただく。	参加したことがない職員 1 名が参加することが出来た。感想として会議で福寿草の状況を報告している。	他の事業所の運営推進委員会に参加している立場で行事や事業所で行ったことなどわかりやく説明していただいている。	・引き続き運営推進会議に参加したことがないスタッフに参加していただく。
F. 事業所の 防災・災害対策	・尾篋地区の消防訓練が開催される時は参加する。 ・ハザードマップを確認し災害が起きた時に避難経路の把握と情報の確認を行う。	・今回は開催されなかった。 ・ハザードマップを確認し水害時の避難経路を確認した、最悪な想定で確認を行い、職員会議で共有することが出来た。	意見は特になし	・前回の尾篋地区消防訓練に参加できなかったため参加する。 ・災害に備え、避難訓練は定期的に行う。実際に想定して、初期対応や、通報の手段など繰り返し訓練していく。

